松谷みよ子民話珠玉選【全5巻】

	紙芝居名	脚本	画	場面数	内　　容	対象
1	うみにしずんだおに	松谷みよ子	二俣英五郎	16	海が荒れて人がさらわれるとなげく村人の話をきいた鬼の親子は、あらしの朝、大岩をかついで海に入っていき･･･。	幼・保 小低・小中
2	したきりすずめ	松谷みよ子	堀内誠一	16	じいがひろってきたすずめのちょんが、ばあの煮たのりをなめたので、ばあはおこって、ちょんの舌を切ってしまいます。	幼・保 小低・小中
3	かさじぞう	松谷みよ子	まつやま ふみお	16	もうすぐ正月だというのにモチを買う金もないじいは、ばあの織った布を売りにいきましたが、買ってもらえません。	幼・保 小低・小中
4	りゅうぐうのおよめさん	松谷みよ子	遠藤てるよ	16	龍神の娘を嫁にもらった若者は、嫁の小づちで家と蔵と米を出して、楽しくくらしていました。それを聞いた殿様はおもしろくなく･･･。	幼・保 小低・小中
5	うりこひめとあまのじゃく	松谷みよ子	梶山俊夫	16	うりから生まれたうりこひめが一人で留守番をしている時、あまのじゃくがやってきた。うりこひめはあまのじゃくにだまされて･･･。	幼・保 小低・小中

宮沢賢治かみしばいの森【全6巻】

	紙芝居名	脚本	画	場面数	内　　容	対象
1	どんぐりとやまねこ	堀尾青史	渡辺有一	16	いちろうのところにきた葉書は、やまねこからのものです。めんどうな裁判をするので、きてくださいというのです。	小低・小中 小高
2	けんじゅうこうえんりん	水谷章三	藤田勝治	12	けんじゅうが植えた杉の林は子どもたちの遊び場になりました。けんじゅうが亡くなり村が町になっても、林だけは･･･。	小低・小中 小高
3	やまなし	桜井信夫	津田櫓冬	12	谷川の上にやまなしがありました。その水の底には、かにの親子が住んでいました。水と光がおりなす幻想的な世界。	小低・小中 小高
4	ふたごのほし	堀尾青史	ユノセイイチ	16	ふたごの星が、ある時ほうき星にだまされて海へ落とされてしまいます。ヒトデやクジラに驚かされたふたごの星は･･･。	小低・小中 小高
5	よだかの星	国松俊英	篠崎三朗	16	鳥たちから嫌われ、タカからは、名を変えろといわれた”よだか”。よだかは追い詰められ、星になるため天にのぼる。	小低・小中 小高
6	おいの森とざる森、ぬすと森	国松俊英	福田庄助	16	岩手山のふもとの森と人間たちの原始的な交流を描く。自然と人間との大らかで豊かなふれあいの物語。	小低・小中 小高

五山賞名作シリーズ【全8巻】

	紙芝居名	脚本	画	場面数	内　　容	対象
1	うまいものやま	佐々木　悦	箕田源二郎	12	にんじんもみそ汁もきらい、甘いものばかり食べたがる、もさくに、困った両親はうまいもの山へ･･･。	幼・保 小低・小中
2	ころころこぐま	長崎源之助	安　和子	12	丸い物は、なんでもころころころがるということを知った子ぐまは、森へ丸いものをさがしに･･･。	幼・保 小低・小中
3	ニャーオン	都丸つや子	渡辺享子	12	一匹の仔ねこがいました。空にまん丸のお月様が輝いています。仔ねこはお月様が欲しくて･･･。	幼・保 小低・小中
4	おかあさんまだかな	福田岩緒	福田岩緒	12	「母の日」を考えるきっかけに。子リスのコリは、どんぐりを探しに行ったお母さんを一人で待っていましたが･･･。	幼・保 小低・小中
5	かあさんのイコカ	降矢洋子	降矢洋子	24	一人の娘が小川でイコカ（しゃもじ）を洗っていると、流されて･･･。	幼・保 小低・小中
6	にじになったきつね	川田百合子	藤田勝治	12	ごろざえもんぎつねは、村はずれの病気のおじいさんが虹を見たいというのを聞いて･･･。	幼・保 小低・小中
7	トラのおんがえし	渡辺享子	渡辺享子	12	助けあう心を描く中国のむかし話。たのまれ、おかあさんの病気を治したお医者さんは、翌朝･･･！？。	幼・保 小低・小中
8	うぐいすのホー	杉浦　宏	松成真理子	12	ホーは、食べものが少なくて、おなかをすかせていました。	幼・保 小低・小中

小さな親切【全4巻】

	紙芝居名	脚本	画	場面数	内　　容	対象
1	しんせつってなぁーに？	「小さな親切」運動本部	小松咲子	13	〈エレーベーターのボタンを押す〉という何気ない行為から、親切とは、相手を思いやる優しさがもとになった行動であることを分かりやすく伝えています。	小低・小中 小高
2	折鶴の奇跡	「小さな親切」運動本部	桃野夢子	12	心臓病の友だちの回復を心から願って鶴を折る子どもたちの姿を通し、生命の尊さ、生命を大切にする心を伝えています。	小低・小中 小高
3	マー君いいとこあるじゃん	「小さな親切」運動本部	鶴岡安通志	13	嫌われ者のマー君が、巣から落ちたつばめのヒナを拾います。それを見ていた一郎君は、マー君の優しい一面に気がつき、今までの見方を変えていきます。一郎君らの心情変化を通し、友人を尊重し合う心を伝えています。	小低・小中 小高
4	だいじなたまご	高木あきこ	有賀　忍	12	学校のとり小屋で生まれたチャボの卵をもらって大喜びのたっくん。しかし、帰宅途中、同じクラスのしんちゃんが曲がり角で飛び出してきて、ぶつかり、割れてしまいました。がっかりしてしまったたっくんですが･･。	小低・小中 小高

新美南吉童話名作集【全7巻】

	紙芝居名	脚本	画	場面数	内　　容	対象
1	花のき村とぬすびとたち　（前編）	水谷章三	西山三郎	12	花のき村に、五人組のぬすびとたちがやってきました。ぬすびとのかしらは、四人の弟子に、村の様子を見に行かせます。	幼・保 小低・小中
2	花のき村とぬすびとたち　（後編）	水谷章三	西山三郎	12	ぬすびとのかしらが弟子たちを村へおくりこんでいるあいだに、一人の子どもが子牛をつれてきて、かしらにあずけました。	幼・保 小低・小中
3	ごんぎつね	清水たみ子	長野ヒデ子	16	ごんは、自分のいたずらのせいで、兵十のおっかあがうなぎを食べられずに死んでしまったのを、くやんでいました。	幼・保 小低・小中
4	てぶくろをかいに	堀尾青史	二俣英五郎	12	寒い冬、子ぎつねは母ぎつねに手ぶくろがほしいとせがみます。すると母ぎつねが手をもんでくれ、片方だけ人間の手に・・・。	幼・保 小低・小中
5	ぬすびととこひつじ	千世まゆ子	藤田勝治	12	ハンスは、ぬすんだこひつじとパンを交換しようとしました。するとメェーメェー、子ひつじは悲しそうに鳴きました。	幼・保 小低・小中
6	きつねのつかい	泉　啓子	篠崎三朗	12	山の中に、さるやしかやきつねがいっしょに住んでいました。ある日、みなのあんどんの油が切れてしまいました。	幼・保 小低・小中
7	おつきさんにばけたいの	三谷亮子	長野ヒデ子	12	お寺のうらに住んでいるタヌキのおかあさんは、坊やに化け方を教えます。おかあさんはお坊さんに化けて見せ、坊やは小僧さんに・・・。	幼・保 小低・小中

その他

	紙芝居名	脚本	画	場面数	内　　容	対象
1	なぜ、七夕にささかざりをするの？	若山甲介	藤田ひおこ	12	むかしの中国のお話です。雲の上のおり姫とひこ星は仲良く暮らすようになりましたが、仕事をしなかったので、神様にしかられて。	幼・保 小低
2						
3						